

市川南地区大規模雨水処理施設整備事業計画（市川市）

（様式1）

項 目	内 容 ・ 施 策 等
選定理由	<p>市川南地区は、急速な都市化の進展等により、浸水被害が頻発するようになった。当初は1つの区域であった市川南排水区約539haを秣川排水機場のみで排水する計画としていたが、外環道路事業により排水区が分断されることを契機とし、この地域の事業計画の見直しを行い、3つの区域に分割し、新たに大和田ポンプ場と市川南ポンプ場を整備する計画とした。</p> <p>大和田ポンプ場は平成29年4月より供用を開始し、市川南ポンプ場は令和5年度の供用開始を目途に別途事業で実施している。</p> <p>今後は浸水被害を防止するため、ポンプ場の整備と併せ、雨水管渠の整備を進めていくことが急務である。</p> <p>なお、市川南排水区においては平成25年10月に時間最大45mm/hの豪雨を記録し、床上浸水21戸、床下浸水46戸の被害が発生。また、平成以降では10回以上の浸水が発生し、慢性的な浸水被害が発生しています。</p>
整備目標	<p>① 本計画における対象降雨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本計画における対象降雨：50mm/h ・目標とする理由：5年確率降雨 ・ハード整備による整備水準の目標:50mm/h（5年確率降雨） <p>②目標設定</p> <ul style="list-style-type: none"> i)生命の保護の観点：当該排水区に存在する高齢者・障害者等要配慮者関連施設132箇所の床上浸水を防止する。 ii)都市機能の確保の観点：緊急輸送路における道路冠水を防止する。 iii)個人財産の保護の観点：家屋の床上浸水を防止する。 iv)その他：特になし <p>備考)浸水対策の観点（生命の保護，都市機能の確保，個人財産の保護等）から目標設定を行い，その内容について具体的に記述</p> <p>③ハード対策，ソフト対策及び自助の役割分担について</p> <ul style="list-style-type: none"> i)ハード対策 <ul style="list-style-type: none"> 施設整備により50mm/h（5年確率降雨）の降雨において浸水被害を防止することを目的とする。 ii)ソフト対策及び自助 <ul style="list-style-type: none"> 施設整備で対象とする降雨量を上回る既往最大降雨60mm/hの降雨において、下水道管理者による内水ハザードマップ公表などの情報提供、地域住民等による止水板設置など、それぞれの主体が対策を実施することにより、床下浸水の被害をできるだけ小さくする。

項目	内容・施策等			
内水ハザードマップ策定状況	<ul style="list-style-type: none"> 有 (平成18年3月策定済み) (令和2年5月更新) 			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	・雨水管渠の整備 排除面積 約 10ha
			下水道管理者以外	
		ソフト対策	下水道管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・内水ハザードマップの公表 ・降雨情報の収集と提供 ・水位観測情報の提供 ・土のうステーションの開設
			下水道管理者以外	
	自助	ハード対策		<ul style="list-style-type: none"> ・止水板の設置補助(市川市あんしん住宅助成事業補助金交付要綱)3箇所 ・各戸貯留浸透施設 (市川市雨水浸透施設設置等助成金交付要綱) 延べ721戸
		ソフト対策		

備考) 事業内容については主な施策について具体的な実施数量を記述

また、下水道管理者以外が行う施策については、道路管理者など実施主体、制度要綱等を具体的に記述

* 下水道浸水被害軽減総合事業に該当する場合、既存の施設調書を別途添付すること

年度計画 (百万円)

名称	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	計
雨水管渠	308	1,387	1,160	1,160	1,160	5,175
雨水貯留管						
雨水ポンプ場						
計	308	1,387	1,160	1,160	1,160	5,175

備考) 事業内容に位置づけた施設について年割額 (事業費) を記述。

整備済のものは含めない。

項 目	内 容 ・ 施 策 等
整備効果	<p><事業評価の内容> (他の交付金事業を含む評価内容)</p> <p>被害額：1,537億円が削減される。</p> <p>B/C：4.496</p> <p>経済的内部収益率：10%以上</p> <p>ソフト対策，自助の整備効果等：</p> <p>内水ハザードマップによる情報提供及び止水板の整備、土のうステーションの設置等を併せて行い、床下浸水の被害を軽減する。</p>
放流先河川との調整状況	
その他	

市川南地区大規模雨水処理施設整備事業計画概要図

